

宮古市・多良間村姉妹市村締結 20 周年記念祝賀会を開催しました

平成 28 年 12 月 8 日(木)に宮古市にて、姉妹市村締結 20 周年記念祝賀会を開催しました。

多良間村からは、伊良皆^{いらみなみつお}光夫多良間村長をはじめとする関係者と、12 月 6 日から 9 日にかけて、児童生徒交流で宮古市を訪れていた多良間村立小・中学校の児童生徒 17 名など、総勢 28 名の皆様にご出席いただきました。

祝賀会では、伊良皆^{ぜんぼうまる}村長が、「善宝丸の不思議な縁によって、両市村の絆が結ばれ、児童・生徒の交流をはじめとする、教育・文化・経済、様々な形で交流できていることに対して、感謝の念でいっぱいである。宮古市と多良間村は、(※1)『いちやりばちょうでー』の心で結ばれている。これ^{えいごう}からも限りない友情の和が未来永劫に続くことを願っている。」とあいさつしました。

山本正徳宮古市長は、「善宝丸の史実がもとで始まった交流が、児童生徒を中心とした市民レベルで行われるようになり、姉妹市村締結 20 周年を迎えられたことを嬉しく思う。両市村の交流が次代を担う若い世代に受け継がれ、末永く続くことを心から願っている。」とあいさつしました。

また、祝賀会の中で、(※2)酒合わせの儀^ぎという儀式も行われ、山本市長と伊良皆村長ほか、両市村の出席者によって、「これからも互いに助け合いながらつながり続けていこう」という願いを込めて、一斗壺に泡盛が注がれました。

ステージでは、宮古市出身の演歌歌手・金澤未咲様が、オリジナル曲などを熱唱し、美しい歌声と素晴らしいパフォーマンスで祝賀会を盛り上げていただきました。

祝賀会の最後には、多良間村小・中学校の児童生徒による多良間音頭を披露していただき、参加者全員一緒になって踊る輪踊によって、改めて両市村の絆が深まる時間となりました。

1 月には、沖縄県多良間村にて 20 周年記念祝賀会が開催されます。

※1 いちやりばちょうでー…沖縄の方言で、「一度出逢えば皆兄弟」という意味。

※2 酒合わせの儀…日本に古来から伝わる「水合わせの儀」という、祝い事の際に行われる儀式と同様のもの。多良間村ではこれを、水ではなく泡盛で行うことが多いとのこと。



酒合わせの儀



多良間小・中学校の児童生徒



金澤未咲様のステージ



最後は、出席者全員で多良間音頭を踊りました